

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【外国につながる子どものためのバイリンガル指導者養成講座】

受託団体名 外国人親たちの学習教室

1 事業の趣旨・目的

外国人児童・生徒が全国で52万人を超えるなか、これらの子どもたちへの支援が多くのボランティア、協力者により行われている。これらの支援活動においては、子どもの成長に対応しつつ、成人した際に自立できることを目標として支援することが重要である。しかしながら、外国につながる子どもたちは、日本語能力が不十分なため学校生活や学業遂行面において問題を抱えている場合が多い。彼らが社会の一員としてその役割を果たしていくためには、彼らに合った指導法による支援活動が必要であると思われる。

その方法のひとつとして、母語を介しての支援を挙げたい。この方法の重要性は多くの研究者も指摘している。母語・継承語・バイリンガル研究会は、日本語がほとんどできない来日初期段階では、母語が可能な指導者による支援が必要であるとしている。子どもたちに早い段階から日本語を習得させることを目指し、かつ精神的な安定を与え、さらに親と学校との良好な関係を構築していくには、子どもの母語や母国文化への深い理解はもちろん、日本語、日本文化について深い理解を有している仲介者が不可欠である。

当団体の活動拠点である神奈川県相模原市では、多数のボランティア団体が、外国につながる子どもたちに対し、日本語の指導のみならず、教科の指導も行っている。更に、同市教育委員会には日本語と母語に堪能な日本語指導等協力者が所属しており、外国につながる子どもの支援を行っている。これら協力者は、日本語の指導のみではなく、子どもの日常生活における精神的な安定のためにも寄与していると思われるが、外国につながる子どもたちの心に届くサポートをしていくためには、協力者の更なる質の向上が求められている。

このような状況から、日本語と母語の両方に堪能であるというメリットを生かした支援方法を模索した結果、当講座を企画、実施するにいたった。日本語及び母語の双方に精通する者をバイリンガル指導者と定義し、その指導者が有している能力を最大限に生かし、外国につながる子どもたちへの指導に必要な基礎知識やスキル・課題対応能力を身に付けてもらうことが、本講座を企画した目的である。外国につながる子どもの指導に役立て、順調に日本の生活に溶け込めるようにすることが、本講座の最大の狙いである。

2. 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月9日	さがみはら 国際交流 ラウンジ (神奈川県 相模原市 プロミティ 淵野辺 ビル)	平高 史也 (慶應義塾大学) (以下主催団体関係者) 崔 英善 遠藤 英雄 村田 清 鈴木 雅次 張 躍英 稲葉 瑞枝 (以下オブザーバー) 古谷礼史 (市教育委員会) 佐々木純司 (相模原市)	講座の事業内容、 運営方法の検討	1) 運営委員会規約策定、 代表選出 2) 講座趣旨説明、及び承認 3) カリキュラム説明 4) 受講者選考基準検討
6月12日	同上	平高 史也 他計8名	運営状況の報告、 今後の運営の検討	1) 第1回講座の状況報告 2) 修了証発行基準の検討
9月4日	同上	平高 史也 他計8名	講座終了の報告	1) 出席状況報告 2) 講座全体の総括
11月28日	同上	崔 英善 他計7名	講座の総括	1) 報告書取りまとめ 2) 今後の課題の検討



【写真1】(運営委員会の様子)

3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 外国につながる子どものためのバイリンガル指導者養成講座
- (2) 養成講座の目標 外国につながる子どもの指導者の更なる質の向上により、外国につながる子どもが社会で自立して生活するための教育の質を向上させる。
- (3) 受講者の総数 24 人 (定員 15 名のところ、応募多数のため受講枠を広げた)
* 出身国別内訳(人数順): 日本 6 名 中国 6 名 韓国 3 名 フィリピン 3 名
メキシコ、ベトナム、ドイツ、ネパール、タイ、ペルー各 1 名
* 開催時間数 講義時間数: 24.5時間 (全16回)
- (4) 受講者の要件
①外国人 (日本語、子どもの母語可能者): 日本語能力検定試験2級以上の程度
②日本人 (日本語、外国語可能者)
③上記の①と②、いずれの場合も、日本語、子どもの母語に習熟しており課題意識を持って意欲的に学習する者であること。
- (5) 受講者の募集方法
①相模原市教育委員会、相模原市公民館等の公的機関にて募集要項等を配布
(添付1 募集チラシ)
②さがみはら国際交流ラウンジのホームページに掲載
③相模原市広報誌に掲載
④神奈川県内の関連ネットワークにメールにて配信
- (6) 研修会場
①さがみはら国際交流ラウンジ(神奈川県相模原市プロミティ淵野辺ビル会議室)
②桜美林大学
③相模原市立図書館
- (7) 使用した教材・リソース
①各講座の基本教材: 講師作成資料
②講師による副教材・参考文献
* 中島和子 2005『カナダの継承語教育—多文化・多言語主義をめざして』明石書店

- * みなみななみ 2009『まんがクラスメイトは外国人～多文化共生 20 の物語』明石書店
- * 中学・高校生の日本語支援を考える会 2010『JSL 中学高校生のための教科につなげる学習語彙・漢字ドリル(中国語版)』ココ出版
- * 佐藤群衛・片岡裕子編著 2008『アメリカで育つ日本の子どもたちーバイリンガルの光と影』明石書店

(9) 講座内容

【概要】

- ①コース:入門 (8日間、全16講座)
- ②科目:全4セッション(日本語指導・教科科目指導・教育相談・コーディネーション)
- ③講師の総数:16名

【詳細シラバス】

日時	講座名		講師	受講者数
6月12日 (土曜日) 13:00 ～ 16:50	オリエンテーション		事務局	23名
	日本の学校システム 学校の書類について		古屋礼史・江戸谷智章 (相模原市教育委員会)	
	日本語指導入門 (子どもにあった日本語指導)		佐々木倫子 (桜美林大学教授)	23名
6月19日 (土曜日) 13:00 ～ 16:10	多言語社会における言語教育 政策		平高史也 (慶應義塾大学教授)	23名
	指導者とは		三輪健二 (お茶の水女子大学教授)	23名
6月26日 (土曜日) 13:00 ～ 16:10	日本語指導 モデル授業	漢字圏	鈴木陽子 (相模原市教育委員会日本語教師)	20名
		非漢字圏	頼田敦子 (横浜市教育委員会日本語講師)	
	子どもの日本語習得状況の評価		平塚淑江 (横須賀市教育委員会国際教育相談員)	20名
7月3日 (土曜日) 13:00 ～ 16:10	教科指導モデル授業 社会(小)数学(中)		種埴千代子・照山幸子 (外国人親たちの学習教室講師)	21名
	外国につながる子どもの 教育相談		高橋 徹 (me-net 代表)	21名

日時	講座名	講師	受講者数
7月10日 (土曜日) 13:00 ～ 16:10	人間理解・人間関係づくりと コミュニケーション	山西優二 (早稲田大学教授)	21名
	文化の理解と伝え方	崔 英善 (外国人親たちの学習教室代表)	21名
7月17日 (土曜日) 13:00 ～ 16:10	外国につながる子どもの カウンセリング	阿部裕 (四谷ゆいクリニック院長、明治学院大学 教授)	22名
	日本における外国につながる 子どもの現状 リソース活用	小山紳一郎 (KIF湘南国際村学術研究センター 副センター長)	22名
7月24日 (土曜日) 公開講座 13:00～ 16:10	バイリンガル教育 (添付2 案内チラシ) ディスカッション	中島和子 (トロント大学名誉教授) 司会: 崔 英善、村田 清 コメンテーター: 中島和子	23名
7月25日 ～9月3日	(自由実践期間) *	市小・中学校、日本語教室、学習教室で の実習	24名
9月4日 (土曜日) 13:00～ 16:10	・今後の展望・課題 (新学習指導要領等) ・実践発表	相模原市、相模原市教育委員会・ さがみはら国際交流ラウンジ関係者	23名
	・実践発表 ・修了証授与式	同上	



【写真2】 (講座の様子)

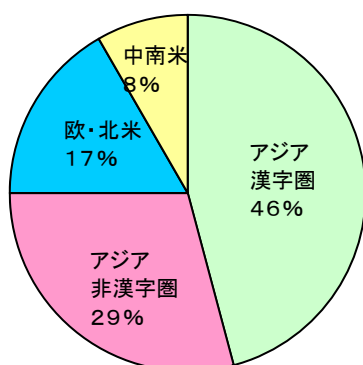
(10) 講座の評価

① 受講者に対するアンケートの結果(抜粋)

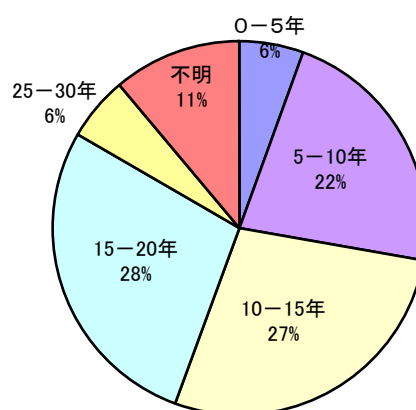
■受講者の構成について

1次調査(2010.6):調査人数:24名 有効回答:24名

1)受講者の言語圏別割合



2)外国人受講者の在日年数



■養成講座の効果について

2次調査(2010.9):調査人数:23名 有効回答:23名

2)カリキュラムは足りていたか？



3)継続して出席した理由

- * 毎回違う講師が魅力的だった。 * 仲間がいたこと。
- * 1度出席すると次が楽しみになり、その流れから毎回出席した。

4)受講後の意識の変化

項目	人数	内容
ある	19名	* 母語、日本語両方大切にしたい * バイリンガル教育の重要性を再認識 * 現状の問題、課題が分かった
ない	2名	
未記入	2名	

5) 今後指導者としてどのような支援に関わりたいか。

* 外国につながる子どもの指導

* 母語を併用して教えたい。

②実施主体からの研修内容結果評価

1) 豊富な言語構成

①受講者は、13 言語にわたった。

* 言語別内訳：中国語、韓国・朝鮮語、英語、ポルトガル語、スペイン語 フランス語、ドイツ語、タイ語、タガログ語、ネパール語、インドネシア語、ベトナム語、日本語

2) 高い出席率

①非常に高い出席率で意欲が見られた。

②出席の状況(24名)

* 全講座出席 13名

* 1回欠席 7名

* 2回欠席 3名

* 3回欠席 1名

3) 参加者約100名の公開講座

受講生23名、聴講者51名、関係者20名、合計94名の参加があった。

4) 実習の状況

市立小・中学校で9名(市教委所属の受講者)、さがみはら国際ラウンジ関係団体の日本語教室で7名、外国につながる子どもの学習教室(2カ所)で8名が実習した。

5) 幅広いニーズへの対応の実現

(11) 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

①親子学習教室への拡大

「外国人親たちの学習教室」の活動主体を、外国人親から、親子に広げる。

②修了者ネットワークづくりの推進

本講座修了者のネットワークづくりを進め、情報交換や指導法の研究を図る。

(12) 事業の成果

①行政とボランティア団体の連携が実現した。

i 相模原市・相模原教育委員会(後援)・さがみはら国際交流ラウンジ(協力)との連携で本講座を行うことができた。

ii 相模原市教育委員会の平成 22 年度第 2 回授業研究会(2010.11.19)で実践発表す

ることができた。

②日本語教室や子ども向けのボランティア学習教室(3団体)との連携が実現した。

- i 受講者の実習の場として「てにをはの会」(日本語教室)、「ことのは」(日本語教室)、「ラウンジ学習教室」(子ども学習教室)、「大島学習教室」(子ども学習教室)が提供され、母語を介した日本語指導等が行われた。

③研修後、活用できる人材が増えた。

- i 相模原市教育委員会への日本語指導等協力者:新規登録5名
- ii 近隣ボランティア団体(日本語教室、子どもの学習教室)での活動:新規登録5名
- iii 本団体での講師としてのボランティア活動:新規登録4名

④受講者の自己成長を求める意識が向上した。

母語の継承を含め、バイリンガル指導者としての意識が高まり、さらに実力をつけたいという感想が寄せられた。

(13) 今後の課題

① カリキュラムについて

- 1) 体系的なシラバス・カリキュラムが必要である。
- 2) 外国につながる子ども特有の問題に特化したカリキュラムの開発が必要である。
- 3) 今回は日本人の講師が多かったため、今後は外国人の視点からの講義も取り入れることを検討する必要がある。
- 4) バイリンガルを生かした具体的な指導法を探究する。

② 実施時期について

- 1) 年度初めに実施したことで、年度途中から児童生徒の指導に活用できた。
- 2) 市内の日本語教室等と開催時間帯が重なったため、多くの受講希望者の要望に応えられなかった。

③ 修了者の活動の場所の確保について

修了者の活動できる機会を設ける。

④ 講師について

外国人講師発掘:バイリンガルを生かした具体的な指導法の見本を受講者に提示する必要がある。

⑤ 教材について

外国人受講者に特化した教材の開発が必要である。

(添付1 募集チラシ)

外国につながる子どもの指導

文化庁委託

バイリンガル指導者 養成講座

バイリンガル教育で、世界的に有名な中島和子先生（トロント大学名誉教授）の講義（7月24日 13時～14時30分）（当日参加OK）を聞いてみませんか？

子ども指導の重要性

外国につながる子どもたちが将来幸せに生きていくためには、自立して社会参加できる能力を身につけなければなりません。しかし、まだ日本語・母語ともに未熟な子どもが多く、その指導者の役割がたいへん重要です。

本講座のねらい

バイリンガル指導者は日本語・子どもの母語に習熟しており、より効果的な指導が可能なお方です。この講座を受けることにより、指導に必要な基礎知識やスキル・課題対応能力の習得が期待されます。

バイリンガルの特徴を生かした指導法を学び、

1ステップ上がった指導者になりませんか？

● 講座の特徴	・理論から実践まで ・短期集中型 ・多彩な講師陣 (大学教授、市役所職員、経験豊富な現場の先生等)
● 研修日時	・2010年6月12日より9月4日まで全16回 ・毎週土曜日 13時～16時10分、90分2コマ
● 受講生募集	・募集期間：5月1日～6月5日 ・定員：15名（選抜後抽選）他に聴講生（当日先着10名位） ・応募用紙：ラウンジ（ホームページからも得られます。）
● 受講資格 (バイリンガル)	外国人：日本語・母国語可能者 日本人：日本語・外国語可能者
● 場所	さがみはら国際交流ラウンジ（JR淵野辺駅より徒歩4分）
● 授業料	文化庁からの委託のため無料 (ただし、事故に備えた保険料500円必要)

主催：外国人親たちの学習教室

連絡先：代表 崔 英善（ちえ よんそん）

メール mongunny27@yahoo.co.jp

協力：さがみはら国際交流ラウンジ 連絡先：042-750-4150

ホームページ <http://www1.odn.ne.jp/sil>

後援：相模原市、相模原市教育委員会

委託：文化庁からの委託

(添付2 公開講座案内チラシ)

文化庁委託	
バイリンガル指導者養成講座	
公開講座	
「バイリンガル教育」	
複数言語を話す子どもの効果的な教育方法や 複数言語を話す指導者としての心構えについて	
複数言語を話す力は、どうしたら育つのでしょう？ 子どもをバイリンガルに育てるには？ この講座では、子どもをバイリンガルに育てるための 指導者として必要なスキルの概要を学びます。	
講師 中島和子 トロント大学名誉教授	
講師略歴 中島 和子(なかじま かずこ) カナダトロント大学名誉教授。トロント大学言語学博士課程修了。 専門は、バイリンガル教育、継承語教育、日本語教育学。 年少者の言語教育分野における多岐にわたる研究で知られており、 日本のバイリンガル教育研究の権威。	
日にち	2010年7月24日(土)
時間	13:00～16:10
会場	相模原市立図書館 集会室
費用	無料
定員	先着100名 (当日12:00より受付)
* 当公開講座は、バイリンガル指導者養成講座の一部として実施するものです。 受講生に加えて、一般から聴講生を募集します。	
主催	外国人親たちの学習教室
協力	さがみはら国際交流ラウンジ
後援	相模原市、相模原市教育委員会
お問い合わせ	さがみはら国際交流ラウンジ(電話042-750-4150)